

平成21年10月8日

各位

上場会社名 株式会社 カワサキ  
 代表者 代表取締役社長 川崎 治  
 (コード番号 3045)  
 問合せ先責任者 取締役管理部長 大下 実  
 (TEL 072-439-8011)

## 業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成21年7月8日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年8月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,763	26	△548	△161	△123.32
今回発表予想(B)	2,794	85	△563	△149	△114.66
増減額(B-A)	31	59	△15	12	
増減率(%)	1.1	226.9	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年8月期)	2,927	234	242	186	137.52

平成21年8月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年9月1日～平成21年8月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	2,123	129	△450	△107	△81.96
今回発表予想(B)	2,144	168	△484	△116	△89.43
増減額(B-A)	21	39	△34	△9	
増減率(%)	1.0	30.2	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成20年8月期)	2,404	244	241	178	131.42

### 修正の理由

(連結)

売上高は前回発表から31百万円(1.1%)増加し、2,794百万円となる見込みであります。利益面におきましては、営業利益が前回発表から59百万円(226.9%)増加し、85百万円となる見込みであります。経常利益は前回発表から15百万円減少し、△563百万円となる見込みであります。営業利益増加の要因は、主に販売費及び一般管理費の削減であります。また、経常利益減少の要因は、前回発表時に計上した「包括的長期為替予約」の評価損534百万円が、当連結会計年度末には幾分円高方向に不利に作用したことで70百万円増加し、604百万円となったためであります。なお、当期純利益は前回発表から12百万円増加し、△149百万円となる見込みであります。

なお、当社が行っている「包括的長期為替予約」は実需に対応し、仕入コストの安定化のために実施しており、投機目的によるものではありませんが、ヘッジ会計の要件を満たしていないため、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

(個別)

売上高は前回発表から21百万円(1.0%)増加し、2,144百万円となる見込みであります。利益面におきましては、営業利益が前回発表から39百万円(30.2%)増加し、168百万円となる見込みであります。経常利益は前回発表から34百万円減少し、△484百万円となる見込みであります。営業利益増加の要因は、主に販売費及び一般管理費の削減であります。また、経常利益減少の要因は前回発表時に計上した「包括的長期為替予約」の評価損534百万円が、当事業年度末には幾分円高方向に不利に作用したことで70百万円増加し、604百万円となったためであります。当期純利益は前回発表から9百万円減少し、△116百万円となる見込みであります。

なお、当社が行っている「包括的長期為替予約」は実需に対応し、仕入コストの安定化のために実施しており、投機目的によるものではありませんが、ヘッジ会計の要件を満たしていないため、期末ごとに時価評価した上で損益処理しております。

(注)上記の業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであります。実際の業績は、今後様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上